

AI による画像認識で非接触・非破壊検査

工学部技術・経営工学科 医用生体工学研究室

応用が想定される領域

工業製品、食品、農産物等の様々な検査
(数量、形状、大きさ、色、テクスチャ、欠陥など)

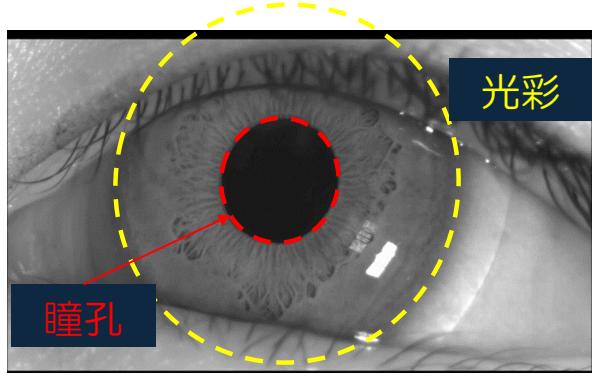


課題と背景、解決方法

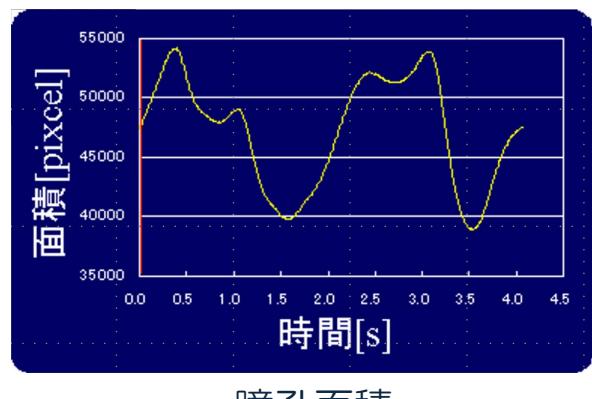
工業製品、食品、農産物、その他さまざまな分野で、非破壊かつ非接触で、数量、形状、大きさ、色、テクスチャ、欠陥などを判断したいニーズがあると思います。

本研究室では、これまで主に医療分野を対象として、AI を用いた画像認識や 3 次元計測に関する研究を行ってきましたが、この技術は工業分野や食品、農産物などの様々な分野に応用できるものです。

それぞれのニーズに合わせた AI の構築を、共同研究により構築できればと思います。



近赤外画像



瞳孔面積

メリット

遠隔からの画像で判断できる

カメラと PC (またはマイコン) というコンパクトなシステムで実現できるため、ラインに導入しやすい

キーワード

人工知能 (AI) 、画像計測、パターン認識、3 次元計測

問合せ先

地域連携キャリアセンター 電話 0256-47-5513 mail innovation@sanjo-u.ac.jp